

# 滝川市公共施設個別施設計画前期計画及び滝川駅周辺地区再生整備事業について

2026.2.18 総務文教常任委員会資料(抜粋) 総務部

## 1. 経 過

昨年2月の総務文教常任委員会で、滝川駅周辺地区再生整備事業にかかる財政見通しについて、予測ができない状況となったことをご報告申しあげ、その中で、市の財政運営基本方針（令和5年10月策定）に定めた「財政の安全性確保～市立病院の健全経営の継続」に従い令和7年度における対応方針を定め、策定中であった滝川駅周辺地区再生整備基本計画（※のちに原案として整理）における滝川駅周辺地区再生整備事業については”一旦停止”とさせていただいたところです。

## 2. 令和8年度における対応方針

令和8年度も令和7年度における対応方針を継続し、滝川市立病院経営強化プラン【2025年11月改訂】の推進により病院事業会計の収支改善を図るほか、財政の安全性確保に向けて市が一丸となって最大限対応してまいります。

具体的には、

- 1) 病院事業会計へ国の繰出基準に基づき繰出金の増額（満額）を継続します。
- 2) 施設整備に活用するふるさと基金を確保するため、ふるさと納税寄付金のさらなる増額をめざすなど基金確保に引き続き最大限努力します。
- 3) 財政調整基金は、18億円を引き続き確保します。

# 滝川市公共施設個別施設計画前期計画及び滝川駅周辺地区再生整備事業について

## 3-1. 滝川市公共施設個別施設計画前期計画（子育て施設）について

昨年11月に厚生常任委員会でご報告申しあげた（仮称）子育てと健康の拠点複合施設整備事業については、こども家庭センターと地域子育て支援センターの2施設を加えて滝川市公共施設個別施設計画前期計画（令和6年6月改訂）に前倒すこととし、極めて有利な補助採択を前提に機を逃さず優先して実施してまいります。

## 3-2. 滝川駅周辺地区再生整備事業について

市立病院の健全経営の継続や国の子育て施策の拡充にあわせた（仮称）子育てと健康の拠点複合施設整備事業の優先実施などを総合的に考慮し、“一旦停止”とさせていただいた**滝川駅周辺地区再生整備事業**（※次の整備）

（仮称）駅前交流施設 （仮称）駅前野外交流広場  
（仮称）駅前市民駐車場 （仮称）交流広場 （仮称）まちなか自由空間

については、国の交付金等を見込んで大きな財政投資が必要であり、他の優先する事業と同時期に取り組むと、長期的な財政見通しが立たないことから、“白紙”とさせていただきます。

今後については、滝川駅周辺地区再生整備基本構想（令和6年3月策定）に基づく将来ビジョンの実現に向けて、まずは、市民の皆様の安全安心確保のため、老朽化の著しい**旧スマイルビル解体事業の実施をめざす**とともに、解体後の跡地活用を含め、これまでにいただいた市民の皆様の要望やアイデアを最大限に活かすことのできる**新たな取り組みの検討**に、令和8年度から着手してまいります。

将来ビジョン ～ 行きたい・住みたいエリアに転換し 豊かな生活シーンを創出する  
次世代を担う子ども・若者の笑顔があふれる魅力的な”まちなか”

# 滝川市公共施設個別施設計画前期計画及び滝川駅周辺地区再生整備事業について

## 3-3. 滝川市公共施設個別施設計画前期計画（ホール機能ほか）について

ホール機能の整備については、滝川市公共施設個別施設計画前期計画の文化施設複合化事業において、駅周辺地区再生整備事業において機能集約するとしていましたが、滝川駅周辺地区再生整備事業の白紙に伴い新たな検討を開始します。

まずは、文化施設複合化事業として、**ホール機能の代替機能**（小規模ホール）とそれ以外の必要な機能を厳選して前期計画において集約化、複合化することとし、既存公共施設の跡地活用などを検討してまいります。

また、それまでの間において、市民の皆様の文化芸術活動が円滑に行われるよう、ハード面とソフト面の双方において皆様への**支援を拡充**させてまいります。

なお、文化団体からの要望等もございます**ホール機能の整備**（大規模ホール）については、実現は非常に難しいと感じてはおりますが、その実現可能性については引き続きしっかりと求めてまいります。

その他の前期計画については、小学校再編事業ほか計画に沿って順次進めてまいります。

# 滝川市公共施設個別施設計画前期計画及び滝川駅周辺地区再生整備事業 について

---

この資料に関するお問い合わせは・・・

総務部 0125-23-1234 内1660 和田  
内1620 小畑  
内1631 岡崎